

エコアクション21  
環境経営レポート

2024年度版  
(運用期間:2024年4月～2025年3月)



クリーン筑紫野有限会社

関連事業所 有限会社創光リサイクル

発行日:2025年5月1日

## 目 次

|                       |    |
|-----------------------|----|
| 1.クリーン筑紫野(有)事業概要      | 1  |
| 2.(有)創光リサイクル事業概要      | 3  |
| 3.認証登録の対象範囲           | 5  |
| 4.環境経営方針              | 6  |
| 5.エコアクション21の実施体制とその役割 | 7  |
| (1)実施体制               | 7  |
| (2)環境マニュアル(役割と権限)     | 8  |
| 6.環境経営目標              | 10 |
| 7.環境経営計画              | 11 |
| 8.環境経営目標の実績           | 12 |
| (1)環境経営目標の実績          | 12 |
| (2)当社の特色ある環境活動とその実績   | 12 |
| (3)これまでの取組の足跡         | 13 |
| 9.環境経営計画の実績           | 15 |
| 10.2024年度取組状況の評価      | 16 |
| 11.次年度の環境経営目標及び環境経営計画 | 17 |
| (1)2025年度環境経営目標       | 17 |
| (2)2025年度環境経営計画       | 18 |
| 12.環境関連法規への違反、訴訟等の有無  | 19 |
| 13.代表者による全体の評価と見直し    | 20 |

# 1. クリーン筑紫野(有)事業概要

- ① 会社名 クリーン筑紫野 有限会社
- ② 代表者名 代表取締役 森下正己
- ③ 環境管理委員会 環境管理責任者 森下 弘一  
事務局窓口  
TEL:092-920-8455  
FAX:092-927-3600  
HP :<http://www.mottainai-challenge.co.jp/>  
E-MAIL clean@mottainai-challenge.co.jp



- ④ 所在地 〒818-0013 福岡県筑紫野市岡田3丁目10番地3  
TEL:092-920-8455 FAX:092-927-3600  
HP :<http://www.mottainai-challenge.co.jp/>  
E-MAIL clean@mottainai-challenge.co.jp

- ⑤ 法人設立 1979年6月25日

- ⑥ 資本金 500万円

- ⑦ 事業年度 期首 4月 期末 3月  
EA21取組開始 : 2006年6月 取組19年目

- ⑧ 事業内容 一般廃棄物収集運搬、古紙及び資源物の収集運搬、生活支援サービス

|                     |          |          |           |
|---------------------|----------|----------|-----------|
| 筑紫野市 一般廃棄物<br>処理業許可 | 許可番号     | 許可年月日    | 許可有効年月日   |
|                     | 5筑環第995号 | 令和6年4月1日 | 令和8年3月31日 |

- ⑨ 施設等の状況

| 運搬車両の種類 | 台数 |
|---------|----|
| 4tパッカー車 | 10 |
| 2tパッカー車 | 2  |
| 2tダンプ車  | 2  |
| 軽トラック   | 1  |

- ⑩ 廃棄物処理料金 個別見積りによる

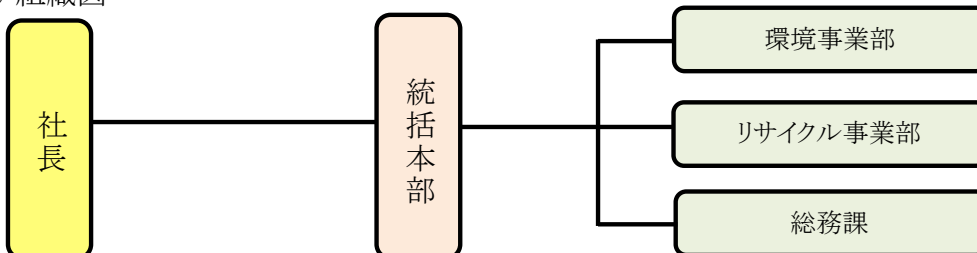
- ⑪ 事業規模

| 区分         | 単位 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|------------|----|--------|--------|--------|
| 一般廃棄物収集運搬量 | t  | 12,224 | 12,213 | 11,694 |
| 売上高        | 区分 | A      | A      | A      |
| 従業員数       | 人  | 33     | 34     | 37     |

※当社は、優良産廃処理業者認定は受けていない。

※売上商区分Aとは、5億円未満を示す。

- ⑫ 組織図



## 電動パッカー車



- 夜間収集時の騒音低減策として、電動パッカー車を導入しています。

## 社内用リサイクル分別ボックス



- 事業活動で発生した廃棄物は、リサイクルしやすいようにきちんと分別して排出しています。

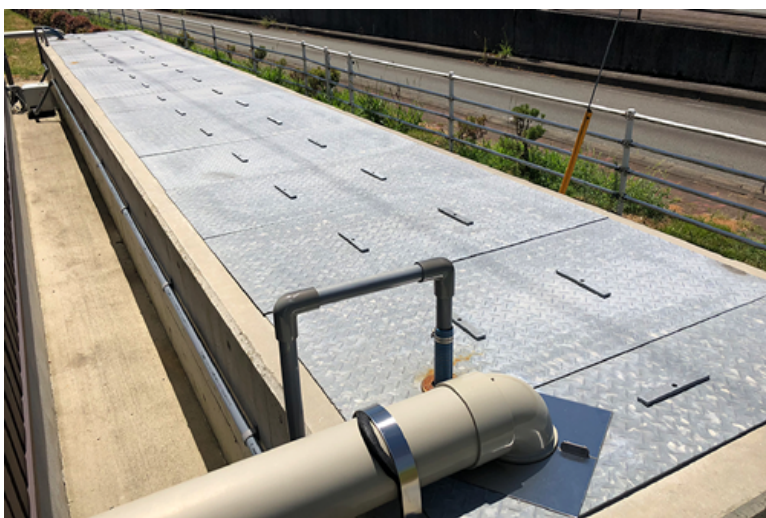
## 太陽光発電



- 太陽光発電により1年間通算で、二酸化炭素排出量を約50t削減します。



## 雨水利用施設



- エコアクション21(環境活動)の取り組みとして雨水を活用し、トイレの流し水、散水等に利用しています。
- 1年間通算で、水使用量を約20万ℓ削減しています。

## 2. (有)創光リサイクル事業概要

- ① 会社名 有限会社 創光リサイクル
- ② 代表者名 代表取締役 森下弘一
- ③ 環境管理委員会 環境管理責任者 森下弘一  
事務局窓口  
TEL:092-920-8458  
FAX:092-920-8460  
HP :<http://mottainai-action.co.jp>  
E-MAIL [k-morishita@mottainai-challenge.co.jp](mailto:k-morishita@mottainai-challenge.co.jp)
- ④ 所在地 〒818-0013 福岡県筑紫野市岡田3丁目10番地3  
TEL:092-920-8458 FAX:092-920-8460  
HP :<http://mottainai-action.co.jp>  
E-MAIL [k-morishita@mottainai-challenge.co.jp](mailto:k-morishita@mottainai-challenge.co.jp)
- ⑤ 法人設立 2004年6月17日
- ⑥ 資本金 300万円
- ⑦ 事業年度 期首 6月 期末 5月  
EA21取組開始 : 2006年6月 取組19年目
- ⑧ 事業内容 古紙の再生【選別・梱包】、金属くずの再生【選別・加工】  
古紙及び資源物の収集運搬・再資源化处理  
機密文書シュレッダー処理・再資源化处理  
産業廃棄物処分業【廃プラスチック・紙くず 圧縮梱包】  
【発泡スチロール 溶融・固化】  
【廃油(植物性廃食用油に限る) 調質】  
【廃油(植物性廃食用油に限る) 油水分離】  
産業廃棄物収集運搬業、特別管理産業廃棄物収集運搬業  
計量証明事業



### ⑨ 許可内容

| 許可証名           | 許可番号   | 許可年月日     | 許可有効年月日    |
|----------------|--|-----------|------------|
| 産業廃棄物収集運搬業     | 福岡県04000126265   | 令和3年3月22日 | 令和8年3月21日  |
|                | 佐賀県04103126265   | 令和4年7月25日 | 令和8年4月2日   |
|                | 熊本県04305126265   | 令和6年6月10日 | 令和11年6月9日  |
| 特別管理産業廃棄物収集運搬業 | 福岡県04050126265   | 令和6年8月27日 | 令和11年8月26日 |
| 産業廃棄物処分業       | 福岡県04020126265   | 令和5年3月4日  | 令和10年3月3日  |
| 事業の概要          | 事業の範囲  |           |            |
| 産業廃棄物収集運搬業     | 廃プラスチック類、金属くず、カラスくず等、燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、鋳さい、がれき類、ばいじん |           |            |
| 特別管理産業廃棄物収集運搬業 | 廃油、廃酸、廃アルカリ、感染性廃棄物、鋳さい、廃石綿等、ばいじん、燃え殻、汚泥  |           |            |
| 産業廃棄物処分業       | 廃プラスチック類(軟質系廃プラスチックに限る)  | 圧縮梱包      |            |
|                | 紙くず  |           |            |
|                | 廃プラスチック類(発泡スチロールに限る)   | 溶融・固化     |            |
|                | 廃油(植物性廃食用油に限る)   | 調質        |            |
|                | 廃油(植物性廃食用油に限る)   | 油水分離      |            |

⑩ 施設等の状況

| 運搬車両の種類 | 台数 | 運搬車両の種類 | 台数 |
|---------|----|---------|----|
| 4tパッカー  | 1  | 3tトラック  | 4  |
| 3tパッカー  | 6  | 1tトラック  | 3  |
| 2tパッカー  | 2  | 保冷トラック  | 2  |
| 軽トラック   | 3  | タンク車    | 1  |

| 処理施設の種類     | 処理する産廃の種類               | 処理能力                      |
|-------------|-------------------------|---------------------------|
| 中間処理(圧縮梱包)  | 廃プラスチック類(軟質系廃プラスチックに限る) | 56.8t/日(8H)               |
|             | 紙くず                     | 108.8t/日(8H)              |
| 中間処理(熔融・固化) | 廃プラスチック類(発泡スチロールに限る)    | 0.18t/日(8H)               |
| 中間処理(熔融・固化) | 廃プラスチック類(発泡スチロールに限る)    | 0.4t/日(8H)                |
| 中間処理(調質)    | 廃油(植物性廃食用油に限る)          | 200ℓ/日(24H)               |
| 中間処理(油水分離)  | 廃油(植物性廃食用油に限る)          | 4.7m <sup>3</sup> /日(22H) |

⑪ 処理工程図

| 廃棄物                     | → | 処分    | → | 製品等           |
|-------------------------|---|-------|---|---------------|
| 廃プラスチック類(軟質系廃プラスチックに限る) | → | 圧縮梱包  | → | プラスチック原料      |
| 紙くず                     | → | 圧縮梱包  | → | 製紙原料          |
| 発泡スチロール                 | → | 熔融・固化 | → | プラスチック原料      |
| 廃油(植物性廃食用油に限る)          | → | 調質    | → | BDF           |
| 廃油(植物性廃食用油に限る)          | → | 油水分離  | → | 【飼料・工業・燃料】用原料 |

⑫ 産業廃棄物処理実績

| 区分      | 単位 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|---------|----|--------|--------|--------|
| 収集運搬受託量 | t  | 208.32 | 227.73 | 301.08 |
| 処分受託量   | t  | 17.27  | 16.55  | 15.65  |

⑬ 廃棄物処理料金

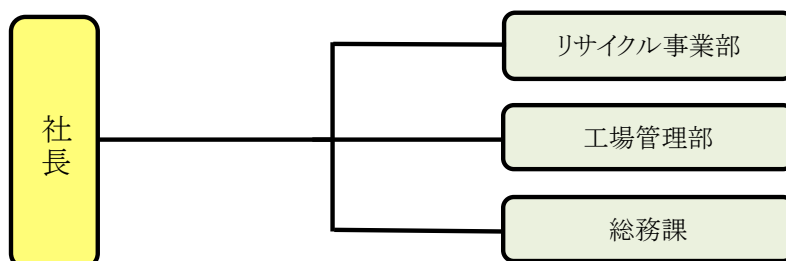
個別見積りによる

⑭ 事業規模

| 区分        | 単位 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|-----------|----|--------|--------|--------|
| 再生資源収集運搬量 | t  | 3,922  | 4,186  | 4,070  |
| 再生資源資源化量  | t  | 6,308  | 6,160  | 6,207  |
| 売上高       | 区分 | A      | A      | A      |
| 従業員数      | 人  | 15     | 16     | 16     |

※売上高区分Aとは5億円未満を示す。当社は、優良産廃処理業者認定は受けていない。

⑮ 組織図





古紙及び資源物収集運搬車



古紙圧縮梱包機



発泡スチロールリサイクル装置(選別⇒溶融・固化)



発泡スチロールインゴット



天ぷら油リサイクル装置 (BDF 反応機)



天ぷら油リサイクルフォロー図

### 3. 認証登録の対象範囲

- 対象事業所 : 本社、(有)創光リサイクル
- 対象事業活動 : 一般廃棄物収集運搬業、産業廃棄物収集運搬業  
 特別管理産業廃棄物収集運搬業  
 産業廃棄物処分業(中間処理)  
 古紙及び資源物の収集運搬及び圧縮梱包  
 機密文書シュレッダー処理、計量証明事業  
 生活支援サービス業

## 4. 環境経営方針

### 基本理念

クリーン筑紫野有限会社及び関連事業所有限会社創光リサイクルは、地域の環境に配慮し、一般廃棄物の収集運搬業務、産業廃棄物の収集運搬・中間処理業務及び一般廃棄物（資源物）の再資源化処理業務に取り組み、廃棄物の適正処理及びリサイクルを推進し、地球環境保全に努めるとともに、環境経営の継続的改善を行います。

### 基本方針

- (1) 当社の環境への影響を把握し、目標を設定し、見直しを行うことにより継続的改善を図ります。
- (2) 以下の環境保全活動を推進する。
  - ① 地球温暖化防止（二酸化炭素排出量削減）
    - イ、太陽光発電によって電力使用量を削減します。
    - ロ、バイオディーゼル燃料を精製し軽油代替燃料として使用することにより、化石燃料使用量を削減します。
    - ハ、収集運搬車両及びフォークリフトの燃料使用量を削減します。
    - ニ、工場及び事務所内の電気使用量を削減します。
  - ② 雨水を利用することによって工場及び事務所内の水使用量を削減します。
  - ③ 工場及び事務所内から発生する廃棄物の削減及びリサイクルの推進を行う。
  - ④ 産業廃棄物中間処理後に発生する産業廃棄物の削減及びリサイクル率の向上を図ります。
  - ⑤ 化学物質の管理を適正に行います。
  - ⑥ 事務用品等のグリーン購入を推進します。
  - ⑦ コピー用紙購入量の削減を推進します。
  - ⑧ 地域の環境保全活動に貢献し、地域社会との調和を図ります。
- (3) 環境に関連する法規制並びにその他要求事項を遵守します。
- (4) 環境経営方針を全従業員に周知させるとともに、環境保全意識の徹底を図ります。

制定日：2006年 5月 3日

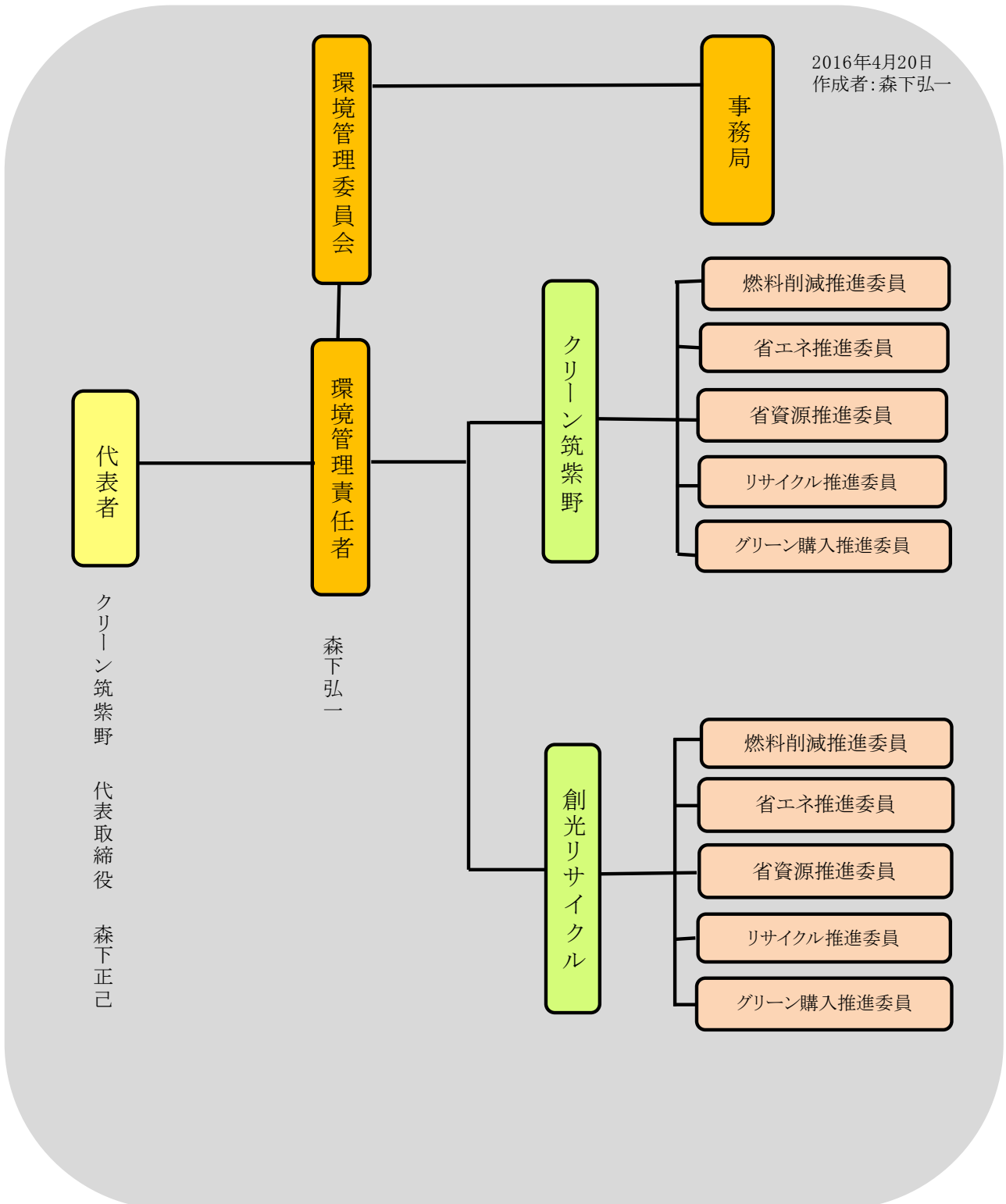
改訂日：2020年 4月 1日

福岡県筑紫野市岡田三丁目10番地3  
クリーン筑紫野 有限会社  
代表取締役 森下正己

## 5. エコアクション21の実施体制とその役割

・実施に当たっては、社内にエコアクション21を推進する次のような実施体制を構築して、それぞれの役割・権限と具体的な行動手順を環境マニュアルとして定め、全社員が一丸となって取り組みました。

### (1) 実施体制



## (2) 環境マニュアル(役割と権限)

| 役職名                                       | 役割と権限  |
|---|--|
| <p>代表者</p> <p>(クリーン筑紫野(有) 代表取締役:森下正己)</p> | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 経営における課題とチャンスを確認にする。</li> <li>2. 環境管理委員会からの報告を受け、毎年4月に環境方針・環境目標・環境活動年間計画及び環境経営システムの見直しを行う。</li> <li>3. 環境管理委員会をはじめ各担当者に環境への取組みに関する権限と責任を与える。</li> <li>4. 社会へのコミットメントを行う。</li> </ol>  |
| <p>環境管理責任者</p> <p>(森下弘一)</p>              | <p>【責任及び権限】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 全社員にエコアクション21を実行させる権限を持ち、その行動の責任を担う。</li> </ol> <p>【行動手順】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>2. 毎月、環境管理責任者へ運用状況等の報告を受け、環境管理委員会への軌道修正やアドバイスをを行う。</li> <li>3. 環境目標を設定し、達成状況を把握するとともに5月に全社員に報告する。</li> <li>4. 環境管理責任者は、4月にエコアクション21の構築・運用状況を代表者へ報告する。</li> <li>5. 環境目標の達成率が80%未満の場合は、「不適合報告書」を用いて是正処置を行う。</li> </ol>  |
| <p>環境管理委員会</p>                            | <p>【責任及び権限】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 環境管理責任者と共に全社員にエコアクション21を実行させる権限を持ち、その行動の責任を担う。</li> </ol> <p>【行動手順】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>2. 毎月、環境管理委員会へ運用状況等の報告を受け、環境管理責任者に報告した上で各担当者への軌道修正やアドバイスをを行う。</li> <li>3. 毎月に環境への負荷の自己チェックの取りまとめを行う。</li> <li>4. 4月に環境への取組みの自己チェックの年間取りまとめを行う。</li> <li>5. 4月下旬に環境レポートを作成し発行する。</li> <li>6. 環境関連文書及び記録の作成・整理を行う。</li> <li>7. 外部からの環境に関する苦情や要望を受付、必要な対応を行う。</li> <li>8. 環境関連法規制の最新版管理を5月、11月に行い、環境管理責任者へ報告する。</li> <li>9. 環境管理委員会事務局長は、4月にエコアクション21の構築・運用状況を環境管理責任者へ報告する。</li> </ol> |
| <p>事務局</p>                                | <p>【責任及び権限】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 環境管理委員会と共に全社員にエコアクション21を実行させる権限を持ち、その行動の責任を担う。</li> </ol> <p>【行動手順】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>2. 毎月又は4月に、各推進委員から実績・自己チェック等の報告を受け取りまとめた上で、環境管理委員会へ報告する。</li> <li>3. 4月下旬に環境レポート・環境関連文書及び記録の作成整理を環境管理委員会と共に行う。</li> <li>4. 外部からの環境に関する苦情や要望の受付を行う。</li> </ol>   |



イケメンバーイズ



創光リサイクル工場

| 役職名        | 責任及び権限   |
|------------|--|
| 燃料削減推進委員   | <p><b>【責任及び権限】</b></p> <p>1. 全社員に燃料に関する燃料使用削減の推進を実行させる権限を持ち、燃料使用削減の責任を担う。</p> <p><b>【行動手順】</b></p> <p>2. 毎月、請求書から使用量を記録し、収集運搬量当たりの使用量を計算する。</p> <p>3. 毎月、実行計画表に実績を記入し、事務局に報告する。</p> <p>4. 4月に燃料削減に関する環境への取組みの自己チェックを実施し、事務局に報告する。</p> <p>5. 4月に環境負荷・環境への取組みの自己チェックをもとに、燃料削減行動計画を策定し、事務局に報告する。</p>  |
| 省エネ推進委員    | <p><b>【責任及び権限】</b></p> <p>1. 全社員に電力・灯油に関する省エネの推進を実行させる権限を持ち、省エネの責任を担う。</p> <p><b>【行動手順】</b></p> <p>2. 毎月、請求書から使用量を記録し、処理量当たりの使用量を計算する。</p> <p>3. 毎月、実行計画表に実績を記入し、環境管理委員会に報告する。</p> <p>4. 4月に省エネに関する環境への取組みの自己チェックを実施し、環境管理委員会に報告する。</p> <p>5. 4月に環境負荷・環境への取組みの自己チェックをもとに、省エネ行動計画を策定し、環境管理委員会に報告する。</p>   |
| 省資源推進委員    | <p><b>【責任及び権限】</b></p> <p>1. 全社員に水・紙に関する省資源の推進を実行させる権限を持ち、省資源の責任を担う。</p> <p><b>【行動手順】</b></p> <p>2. 毎月、請求書から水使用量・コピー用紙購入量を確認し記録する。</p> <p>3. 毎月、実行計画表に実績を記入し、環境管理委員会に報告する。</p> <p>4. 4月に省資源に関する環境への取組みの自己チェックを実施し、環境管理委員会に報告する。</p> <p>5. 4月に環境負荷・環境への取組みの自己チェックをもとに、省資源行動計画を策定し、環境管理委員会に報告する。</p>   |
| リサイクル推進委員  | <p><b>【責任及び権限】</b></p> <p>1. 全社員に廃棄物の削減、分別、リサイクルを実行させる権限を持ち、廃棄物削減・リサイクルの責任を担う。</p> <p><b>【行動手順】</b></p> <p>2. 廃棄物の収集を行い、計量する。</p> <p>3. 廃棄物の収集の際に分別や排出方法が適切かの確認を行うと共に、排出廃棄物の動向についても注意しておく。</p> <p>4. 毎月、チェックシート・マニフェストから一般・産業廃棄物排出量を確認し記録する。</p> <p>5. 毎月、実行計画表に実績を記入し、環境管理委員会に報告する。</p> <p>6. 4月に廃棄物に関する環境への取組みの自己チェックを実施し、環境管理委員会に報告する。</p> <p>7. 4月に環境負荷・環境への取組みの自己チェックをもとに、廃棄物削減行動計画を策定し、環境管理委員会に報告する。</p> |
| グリーン購入推進委員 | <p><b>【責任及び権限】</b></p> <p>1. 全社員にグリーン購入の推進を実行させる権限を持ち、グリーン購入の責任を担う。</p> <p><b>【行動手順】</b></p> <p>2. 事務備品等の調達時にグリーン製品を優先的に採用し、毎月採用率を計算し記録する。</p> <p>3. 毎月、実行計画表に実績を記入し、環境管理委員会に報告する。</p> <p>4. 4月にグリーン購入に関する環境への取組みの自己チェックを実施し、環境管理委員会に報告する。</p> <p>5. 4月に環境負荷・環境への取組みの自己チェックをもとに、グリーン購入行動計画を策定し、環境管理委員会に報告する。</p>   |

## 6. 環境経営目標

- 環境経営目標は、環境経営方針で定めた取組の重点分野を中心に、単年度目標(2024年度)と中期目標(2025年度、2026年度)に分けて、以下の10目標を設定しました。
- 削減目標項目の2、3、4は、基準年実績値に対して毎年1%ずつ削減し、2025年度までに3%削減を、5と9は毎年2%ずつ削減して6%削減を目指しています。また、増加目標項目の1、6、8、10は基準年実績値の維持を目標とし、7の化学物質は”適正管理”の定性目標としました。
- なお、2.の軽油・ガソリン使用量は収集運搬量当たりで、3.の電気使用量は中間処理量当たりの原単位目標として設定しました。
- また、事業活動で取り組む本業目標は「中間処理後産業廃棄物リサイクル率の維持」を掲げ、全社を挙げて取り組みました。

2024/4/30

| 目標項目                        | 単位             | 基準年             | 単年度目標           | 中期目標            |                 |
|-----------------------------|----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
|                             |                | 2023年度実績        | 2024年度          | 2025年度          | 2026年度          |
|                             |                | (2023.4~2024.3) | (2024.4~2025.3) | (2025.4~2026.3) | (2026.4~2027.3) |
| 1. バイオディーゼル燃料(BDF)の使用       | ℓ              | 3,739           | 3,739<br>(±0%)  | 3,739<br>(±0%)  | 3,739<br>(±0%)  |
| 2. 収集運搬量当たりの軽油・ガソリン燃料使用量の削減 | ℓ/t            | 5.59            | 5.53<br>(△1%)   | 5.48<br>(△2%)   | 5.42<br>(△3%)   |
| 3. 処理量当たりの電気使用量の削減          | kWh/t          | 17.47           | 17.3<br>(△1%)   | 17.12<br>(△2%)  | 16.95<br>(△3%)  |
| 4. 水使用量の削減                  | m <sup>3</sup> | 290             | 287<br>(△1%)    | 284<br>(△2%)    | 281<br>(△3%)    |
| 5. 一般廃棄物(可燃ごみ)排出量の削減        | t              | 0.30            | 0.294<br>(△2%)  | 0.288<br>(△4%)  | 0.282<br>(△6%)  |
| 6. 中間処理後産業廃棄物リサイクル率の維持      | %<br>(リサイクル率)  | 100             | 100             | 100             | 100             |
| 7. 化学物質の適正管理                | —              | 適正に管理する         |                 |                 |                 |
| 8. グリーン購入比率の向上              | %<br>(購入額比率)   | 71              | 71              | 71              | 71              |
| 9. コピー用紙購入量の削減              | kg             | 209             | 205<br>(△2%)    | 201<br>(△4%)    | 196<br>(△6%)    |
| 10. 花いっぱい運動・地域清掃活動の実施       | 回/年            | 2回/年            | 2回/年            | 2回/年            | 2回/年            |

備考)・購入電力の二酸化炭素排出係数は、電灯、低圧電力が九州電力(株)の2021年度調整後排出係数0.385kg-CO<sub>2</sub>/kWh、高圧電力が大和ハウス工業(株)の2021年度調整後排出係数0.417kg-CO<sub>2</sub>/kWhを用いた。

・( )は基準年(2023年度)実績値に対する削減率を示す。

## 7. 環境経営計画

- ・環境経営目標を達成するため、以下の具体的な取組(活動項目)を設定して、全社員で取り組みました。
- ・また、独自の取組として11.地域への環境配慮の行動3項目を追加しました。

2024/4/30

作成者:森下弘一

| 目標項目                       | 取組活動   | 担当推進委員 | スケジュール              |
|----------------------------|--|--------|---------------------|
| 1.バイオディーゼル燃料(BDF)の使用       | ①バイオディーゼル燃料使用車両の使用                             | 燃料削減   | 通年                  |
| 2.収集運搬量当たりの軽油・ガソリン燃料使用量の削減 | ①ドライブレコーダーによるエコドライブの徹底<br>(法定速度の遵守・急発進、急加速の禁止) | 燃料削減   | 通年                  |
|                            | ②法定積載の遵守                                       |        |                     |
|                            | ③日報による燃費測定                                     |        |                     |
|                            | ④収集ルートの見直し・工夫                                  |        |                     |
| 3.処理量当たりの電気使用量の削減          | ①エアコン温度の適正化(夏季27度、冬季22度)                       | 省エネ    | 夏季:7~9月<br>冬季:11~3月 |
|                            | ②不要照明の消灯(事務所内)                                 |        | 通年                  |
|                            | ③センサーによる照明の自動化                                 |        |                     |
|                            | ④不要照明の消灯(工場内)                                  |        | 切替時                 |
|                            | ⑤工場内照明のLED化                                    |        |                     |
|                            | ⑥リサイクル機器の無駄な稼働の禁止                              |        | 通年                  |
| 4.水使用量の削減                  | ①雨水・酵素再生水の利用                                   | 省資源    | 通年                  |
|                            | ②手洗い・洗濯時の節水                                    |        |                     |
|                            | ③節水コマの利用                                       |        |                     |
| 5.一般廃棄物(可燃ごみ)排出量の削減        | ①廃棄物の分別の徹底                                     | リサイクル  | 通年                  |
|                            | ②リサイクル分別置き場の設置                                 |        |                     |
|                            | ③廃棄物の持込み禁止                                     |        |                     |
| 6.中間処理後産業廃棄物リサイクル率の維持      | ①処分委託先のリサイクルの確認                                | リサイクル  | 通年                  |
| 7.化学物質の適正管理                | ①SDS(安全データシート)の周知                              | リサイクル  | 通年                  |
|                            | ②劇物及び危険物保管庫の整備                                 |        |                     |
|                            | ③劇物及び危険物保管庫の施錠                                 |        |                     |
|                            | ④劇物及び危険物の表示                                    |        |                     |
| 8.グリーン購入比率の向上              | ①古紙配合紙の優先購入                                    | グリーン購入 | 通年                  |
|                            | ②グリーン購入適合品の優先購入                                |        |                     |
| 9.コピー用紙購入量の削減              | ①両面コピー・両面使用の徹底                                 | 省資源    | 通年                  |
|                            | ②会議時のプロジェクター活用                                 |        |                     |
| 10.花いっぱい運動・地域清掃活動の実施       | ①事務所、工場出入口・付近道路の清掃活動                           | 省エネ    | 通年                  |
|                            | ②地域での花いっぱい運動の推進                                |        |                     |
| 11.地域への環境配慮                | ①収集運搬車両の出入ルートの指定                               | 燃料削減   | 通年                  |
|                            | ②収集運搬時の安全パトロールの実施                              |        |                     |
|                            | ③BDF使用により排ガス軽減                                 |        |                     |

## 8. 環境経営目標の実績

### (1) 環境経営目標の実績

- ・2024年度の環境経営目標達成状況は以下のとおりであり、10項目中5項目で達成できましたが、残り5項目は目標値を上回り達成できませんでした。
- ・エネルギー関係の目標2.、3.は目標達成率が91%～96%で、4.水使用量・9.コピー用紙購入量は削減目標を達成できましたが、5.一般廃棄物排出量の削減、8.グリーン購入比率の向上は、目標値を下回り(5.目標達成率40%、8.目標達成率97%)達成できませんでした。
- ・本業目標(中間処理後産業廃棄物リサイクル率の維持)については、業務の品質管理を高めることで、目標を達成できました。
- ・今後は環境意識を高め、全社員が一丸となって環境への取組を徹底させ、全項目の目標達成を目指していきます。

2025/4/30  
作成者:森下弘一

| No | 目標項目                    | 単位             | 2024年度 |        | 目標達成率 | 目標達成状況 |
|----|-------------------------|----------------|--------|--------|-------|--------|
|    |                         |                | 目標     | 実績     |       |        |
| 1  | バイオディーゼル燃料(BDF)の使用      | ℓ              | 3,739  | 2,017  | 54%   | ×      |
| 2  | 収集運搬量当たり軽油・ガソリン燃料使用量の削減 | ℓ/t            | 5.53   | 6.06   | 91%   | △      |
| 3  | 処理量当たり電気使用量の削減          | kWh/t          | 17.30  | 18.05  | 96%   | △      |
| 4  | 水使用量の削減                 | m <sup>3</sup> | 287    | 283    | 101%  | ○      |
| 5  | 一般廃棄物(可燃ごみ)排出量の削減       | t              | 0.29   | 0.73   | 40%   | ×      |
| 6  | 中間処理後産業廃棄物リサイクル率の維持     | %<br>(リサイクル率)  | 100    | 100    | 100%  | ○      |
| 7  | 化学物質の適正管理               | —              | 適正管理する | 適正管理した | —     | ○      |
| 8  | グリーン購入比率の向上             | %<br>(購入額比率)   | 71     | 71     | 100%  | ○      |
| 9  | コピー用紙購入量の削減             | kg             | 205    | 165    | 124%  | ◎      |
| 10 | 花いっぱい運動・地域清掃活動の実施       | 回/年            | 2      | 2      | 100%  | ○      |

備考) 1.目標達成率の計算 削減目標の場合:目標÷実績×100 増加目標の場合:実績÷目標×100

2.目標達成判定区分 ◎:目標達成率120%以上、○:100%以上120%未満、△:80%以上100%未満、×:80%未満、-:判定不可

### (2) 当社の特色ある環境活動とその実績

- ・当社では地球温暖化を防止するため、エコアクション21による省エネ、省資源活動、廃食用油から軽油代替燃料としてBDF(バイオディーゼル燃料)を精製し、収集運搬車燃料等としての使用、太陽光発電による創エネ、雨水の積極的利用等独自の環境活動を実施しています。2024年度の活動実績は以下のとおりです。

| No | 取組項目                | 単位                | 2023年度 | 2024年度 |      |
|----|---------------------|-------------------|--------|--------|------|
|    |                     |                   | 実績     | 実績     | 前年度比 |
| 1  | 二酸化炭素総排出量           | t-CO <sub>2</sub> | 279.91 | 291.57 | 104% |
| 2  | 環境活動による二酸化炭素排出量の削減  | t-CO <sub>2</sub> | 45.59  | 38.94  | 85%  |
| 3  | BDF使用による二酸化炭素排出量の削減 | t-CO <sub>2</sub> | 9.65   | 5.20   | 54%  |
| 4  | 太陽光発電による二酸化炭素排出量の削減 | t-CO <sub>2</sub> | 35.94  | 33.73  | 94%  |
| 5  | 太陽光発電量              | kWh               | 93,348 | 87,614 | 94%  |
| 6  | 雨水使用量               | m <sup>3</sup>    | 220    | 227    | 103% |

※二酸化炭素排出量について、電灯・低圧電力は九州電力の2021年度二酸化炭素実排出係数【0.385kg-CO<sub>2</sub>/kwh】を、高圧電力は大和ハウス工業の2021年調整後排出係数(0.417)を用いて算出した。

### (3) これまでの取組の足跡

2025/4/30  
作成者: 森下弘一

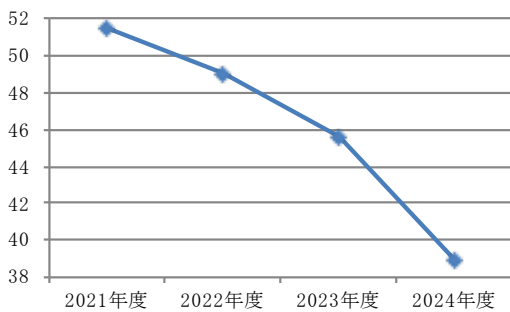
#### ▼当社の特色ある環境活動の実績

##### ■環境活動による二酸化炭素削減量 (t)

| 実績 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|----|--------|--------|--------|--------|
|    | 51.46  | 48.98  | 45.59  | 38.94  |

算定式【BDF使用によるCO2削減量+太陽光発電によるCO2削減量】

環境活動による二酸化炭素削減量(t)

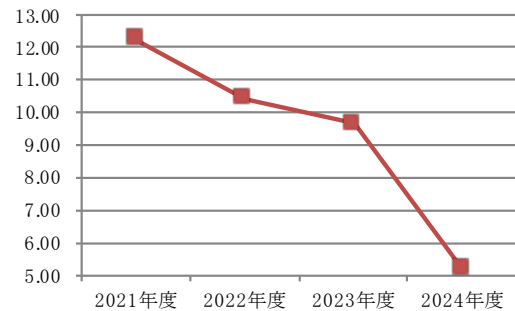


##### ■BDF使用による二酸化炭素削減量 (t)

| 実績 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|----|--------|--------|--------|--------|
|    | 12.23  | 10.44  | 9.65   | 5.20   |

算定式【BDF使用量×2.58(kg-CO2)(軽油排出係数)】

BDF使用による二酸化炭素削減量(t)

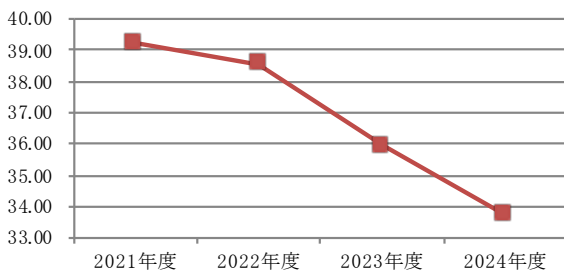


##### ■太陽光発電による二酸化炭素削減量 (t)

| 実績 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|----|--------|--------|--------|--------|
|    | 39.23  | 38.54  | 35.94  | 33.73  |

算定式【発電量×0.385(kg-CO2)】

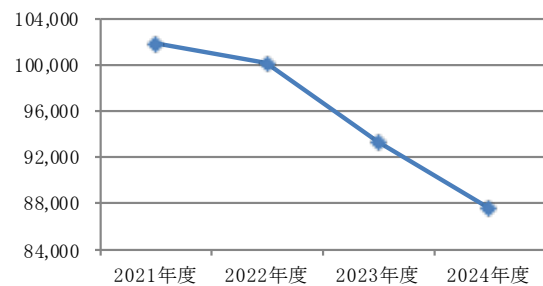
太陽光発電による二酸化炭素削減量(t)



##### ■太陽光発電量 (kWh)

| 実績 | 2021年度  | 2022年度  | 2023年度 | 2024年度 |
|----|---------|---------|--------|--------|
|    | 101,890 | 100,115 | 93,348 | 87,614 |

太陽光発電量(kWh)

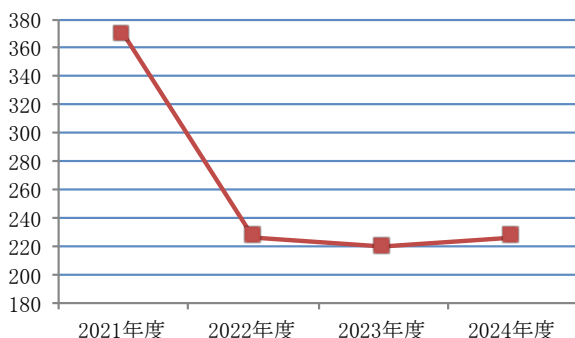


#### ▼環境経営目標の実績

##### ■雨水使用量 (m³)

| 実績 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|----|--------|--------|--------|--------|
|    | 370    | 227    | 220    | 227    |

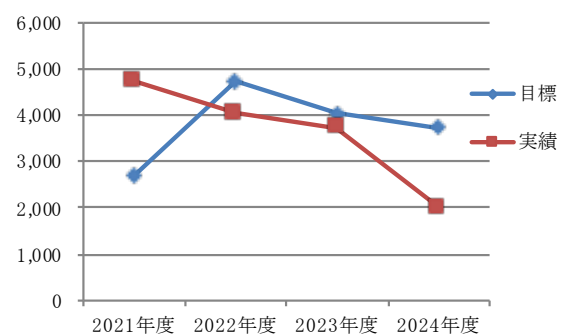
雨水使用量



##### ■天ぷら油リサイクル燃料(BDF)の使用量(ℓ)

| 区分 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|----|--------|--------|--------|--------|
| 目標 | 2,701  | 4,741  | 4,046  | 3,739  |
| 実績 | 4,741  | 4,046  | 3,739  | 2,017  |

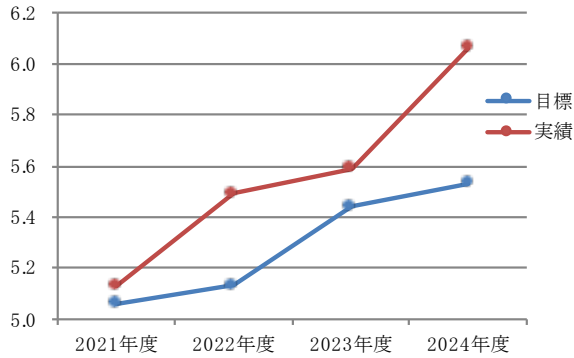
天ぷら油リサイクル燃料の使用量(t)



■ 収集運搬量当たりの軽油・ガソリン使用量 (ℓ/t)

| 区分 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|----|--------|--------|--------|--------|
| 目標 | 5.06   | 5.13   | 5.44   | 5.53   |
| 実績 | 5.13   | 5.49   | 5.59   | 6.06   |

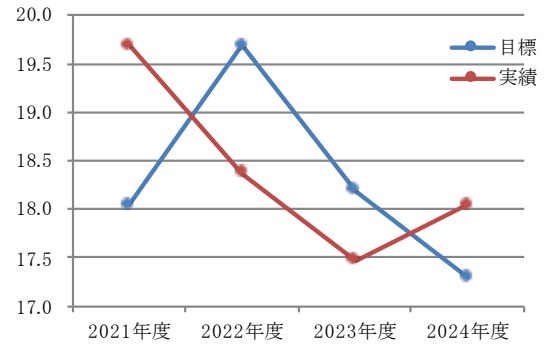
収集運搬量当たりの化石燃料使用量



■ 処理量当たりの電気使用量 (kWh/t)

| 区分 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|----|--------|--------|--------|--------|
| 目標 | 18.04  | 19.69  | 18.19  | 17.3   |
| 実績 | 19.69  | 18.37  | 17.47  | 18.05  |

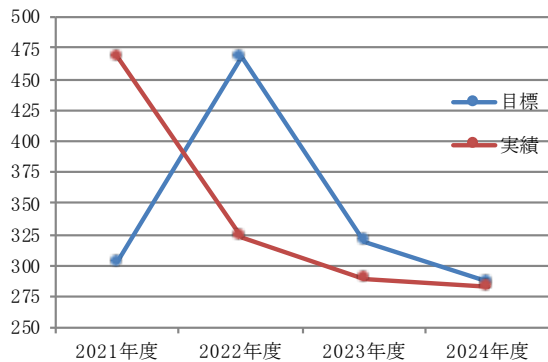
処理量当たりの電気使用量



■ 水使用量 (m³)

| 区分 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|----|--------|--------|--------|--------|
| 目標 | 303    | 468    | 320    | 287    |
| 実績 | 468    | 323    | 290    | 283    |

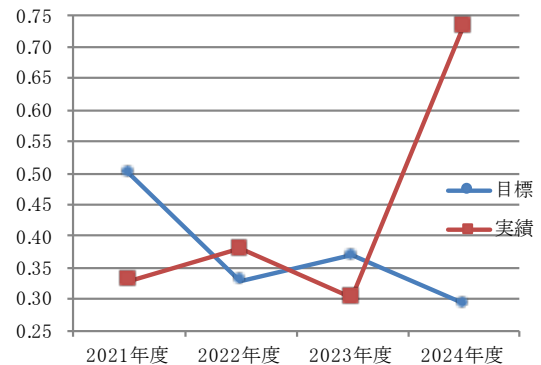
水使用量



■ 一般廃棄物(可燃ごみ)排出量 (t)

| 区分 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|----|--------|--------|--------|--------|
| 目標 | 0.50   | 0.33   | 0.37   | 0.294  |
| 実績 | 0.33   | 0.38   | 0.30   | 0.73   |

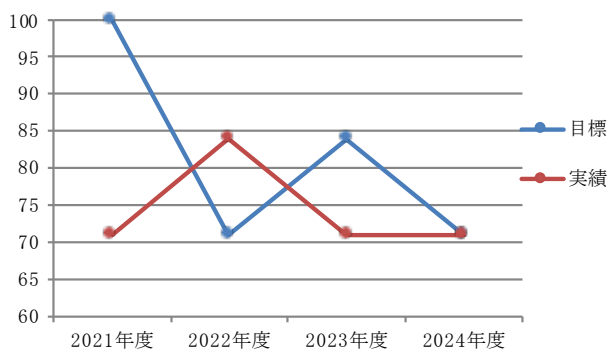
一般廃棄物排出量



■ グリーン購入比率 (%)

| 区分 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|----|--------|--------|--------|--------|
| 目標 | 100    | 71     | 84     | 71     |
| 実績 | 71     | 84     | 71     | 71     |

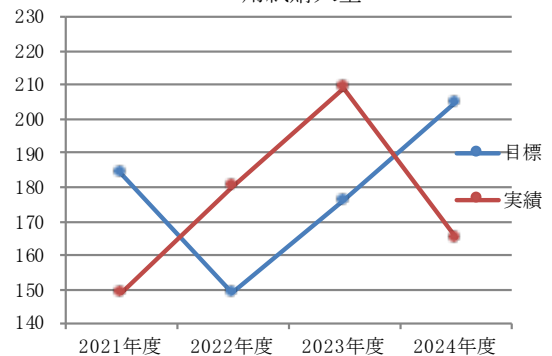
グリーン購入



■ コピー用紙購入量 (kg)

| 区分 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|----|--------|--------|--------|--------|
| 目標 | 184    | 149    | 176    | 205    |
| 実績 | 149    | 180    | 209    | 165    |

コピー用紙購入量



## 9. 環境経営計画の実績

- ・2024年度の環境経営計画の実施状況は以下のとおりであり、計画で定めた取組活動については、全体としては適切に実施することが出来ました。
- ・次年度は、今年度実施不良となった取組活動を中心に取組が進むよう、社員にもっと意識づけを行っていきます。

2025/4/30  
作成者: 森下弘一

| 目標項目                        | 取組活動  | 実施状況 |
|-----------------------------|---|------|
| 1. バイオディーゼル燃料(BDF)使用        | ① バイオディーゼル燃料使用車両の優先使用                           | ○    |
| 2. 収集運搬量当たりの軽油・ガソリン燃料使用量の削減 | ① ドライブレコーダーによるエコドライブの徹底<br>(法定速度の遵守・急発進、急加速の禁止) | ◎    |
|                             | ② 法定積載の遵守                                       | ◎    |
|                             | ③ 日報による燃費測定                                     | ○    |
|                             | ④ 収集ルートの見直し・工夫                                  | ○    |
|                             | ⑤ 省エネギアポンプ装着車の導入                                | ◎    |
| 3. 処理量当たりの電気使用量の削減          | ① エアコン温度の適正化(夏季27度、冬季22度)                       | ○    |
|                             | ② 不要照明の消灯(事務所内)                                 | ○    |
|                             | ③ センサーによる照明の自動化                                 | ○    |
|                             | ④ 不要照明の消灯(工場内)                                  | ○    |
|                             | ⑤ 工場内照明のLED化                                    | ◎    |
|                             | ⑥ リサイクル機器の無駄な稼働の禁止                              | ◎    |
| 4. 水使用量の削減                  | ① 雨水・酵素再生水の利用                                   | ◎    |
|                             | ② 手洗い・洗濯時の節水                                    | ○    |
|                             | ③ 節水コマの利用                                       | ○    |
| 5. 一般廃棄物(可燃ごみ)排出量の削減        | ① 廃棄物の分別の徹底                                     | ◎    |
|                             | ② リサイクル分別置き場の設置                                 | ◎    |
|                             | ③ 廃棄物の持込み禁止                                     | ○    |
| 6. 中間処理後産業廃棄物リサイクル率の維持      | ① 処分委託先のリサイクルの確認                                | ○    |
| 7. 化学物質の適正管理                | ① SDS(安全データシート)の周知                              | ○    |
|                             | ② 劇物及び危険物保管庫の整備                                 | ◎    |
|                             | ③ 劇物及び危険物保管庫の施錠                                 | ◎    |
|                             | ④ 劇物及び危険物の表示                                    | ◎    |
| 8. グリーン購入比率の向上              | ① 古紙配合紙の優先購入                                    | ◎    |
|                             | ② グリーン購入適合品の優先購入                                | ◎    |
| 9. コピー用紙購入量の削減              | ① 両面コピー・両面使用の徹底                                 | ○    |
|                             | ② 会議時のプロジェクター活用                                 | ○    |
| 10. 花いっぱい運動・地域清掃活動の実施       | ① 事務所、工場出入口・付近道路の清掃活動                           | ○    |
|                             | ② 地域での花いっぱい運動の推進                                | △    |
| 11. 地域への環境配慮                | ① 収集運搬車両の出入ルートの指定                               | ○    |
|                             | ② 収集運搬時の安全パトロールの実施                              | ○    |
|                             | ③ BDF使用により排ガス軽減                                 | ○    |

備考) 取組実施状況判定区分 ◎: よく取り組めた(定着)、○: 取り組めた、△: さらに取り組みが必要、×: 取り組めなかった、-: 判定不可

## 10. 2024年度取組状況の評価

・2024年度のエコアクション21による取組結果を評価すると、以下のとおりです。

(2024年4月から一年間の取組結果)

| 取組内容                       | 結果の評価  |
|----------------------------|--|
| 1. バイオディーゼル燃料(BDF)の使用      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標に対して54%の達成となり、前年度比46%の減少となりました。</li> <li>・この要因は、前年度同様、廃食用油を複数用途に使用しているためです。今年度も廃食用油を複数用途(燃料用・飼料用・工業用)に使用する予定にしているため、前年度同等の使用量になる見込みです。</li> <li>・BDF使用車両を優先的に使用すよう努めます。</li> </ul>   |
| 2. 収集運搬量当たり軽油・ガソリン燃料使用量の削減 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標に対して91%の達成となり、前年度比で8.4%増加の結果となりました。</li> <li>・収集運搬量が前年度比3.2%減少し、燃料使用量は4.1%増えたため、t当たり使用量が増加する結果となりました。</li> <li>・この要因は、1顧客当たりの廃棄物量が減少していて、顧客拡大に動き顧客数が増えたためと考えられます。</li> <li>・今年度も省エネギアポンプ装着車の導入を進め、またドライブレコーダーを利用したエコドライブ教育を拡充させ、燃料使用量の削減に繋がります。</li> </ul> |
| 3. 処理量当たり電気使用量の削減          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標に対して96%の達成となり、前年度比で3.3%増加の結果となりました。</li> <li>・処理量が前年度比0.7%増加したが、電気使用量がそれ以上に4.1%増加したため、t当たり使用量増加の結果となりました。</li> <li>・今年度も効率のよいリサイクル機器の使用やメリハリのある稼働を心掛け、電気使用量の効率化に努めます。</li> </ul>   |
| 4. 水使用量の削減                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・上水使用量は前年度比2.5%削減することができ、目標に対して101%を達成することができました。また、雨水使用量は前年度比で103%使用することができました。</li> <li>・今年度も、工場内清掃や洗車に上水の使用を大幅に減らし、雨水再生水の使用を徹底したことが削減の要因と考えられます。</li> <li>・引き続き散水や清掃の際は雨水・再生水を使用し、また水道には節水コマを装備し、節水に努めます。</li> </ul>                                       |
| 5. 一般廃棄物(可燃ごみ)排出量の削減       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標に対して40%の達成となり、前年度比で243%増加する結果となりました。</li> <li>・増加要因としては、お客様へ通いの貸出容器をペーパーで拭きあげる作業を始め、廃棄物の排出量が増えたためと考えられます。</li> <li>・廃棄物の計量管理により、廃棄物の内容確認を行い、リサイクル分別教育に活用していきます。</li> <li>・今年度もより一層リサイクル品の分別とごみ減量活動を継続し、削減結果が得られるよう努めます。</li> </ul>                         |
| 6. 中間処理後産業廃棄物リサイクル率の維持     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・2023年度も、リサイクル率100%を達成出来ているので、引き続き委託先への定期的な確認を行い、リサイクル率100%を維持していきます。</li> </ul>  |
| 7. 化学物質の適正管理               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・SDS(安全データシート)の周知・劇物及び危険物保管庫の施錠を徹底し、適正に管理できています。今後も引き続き適正に管理します。</li> </ul>   |
| 8. グリーン購入比率の向上             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標に対して100%の達成となり、前年度比同率で購入することができました。</li> <li>・引き続き指定した対象商品はグリーン購入でのみ調達するよう設定し、確実にグリーン購入していきます。</li> </ul>  |
| 9. コピー用紙購入量の削減             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標に対して124%の達成となり、前年度比21.1%の削減をすることができました。</li> <li>・今後も引き続き、両面印刷・両面使用の徹底やプロジェクターを活用等コピー用紙削減に取り組んでいきます。</li> </ul>  |
| 10. 花いっぱい運動・地域の清掃活動の実施     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・2024年度も引き続きコロナ感染予防の観点から、社内会議及び本体業務以外の活動は一切中止としており、それに伴い全社をあげての地域花いっぱい運動及び清掃活動は実施しておりません。</li> <li>・一部の社員のみで限定した活動は行いました。</li> <li>・2025年度中に全社での実施を検討していきます。</li> </ul>   |

# 11. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

## (1) 2025年度環境経営目標

・次年度の環境経営目標は、2024年度実績値を基準年として新たな中期目標(2025年度～2027年度)を策定し、その2025年度を適用します。

2025/5/1

| 目標項目                        | 単位             | 基準年             | 単年度目標           | 中期目標            |                 |
|-----------------------------|----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
|                             |                | 2024年度          | 2025年度          | 2026年度          | 2027年度          |
|                             |                | (2024.4～2025.3) | (2025.4～2026.3) | (2026.4～2027.3) | (2027.4～2028.3) |
| 1. バイオディーゼル燃料(BDF)の使用       | ℓ              | 2,016           | 2,016           | 2,016           | 2,016           |
|                             |                |                 | (±0%)           | (±0%)           | (±0%)           |
| 2. 収集運搬量当たりの軽油・ガソリン燃料使用量の削減 | ℓ/t            | 6.06            | 6.00            | 5.94            | 5.88            |
|                             |                |                 | (△1%)           | (△2%)           | (△3%)           |
| 3. 処理量当たりの電気使用量の削減          | kWh/t          | 18.05           | 17.87           | 17.69           | 17.51           |
|                             |                |                 | (△1%)           | (△2%)           | (△3%)           |
| 4. 水使用量の削減                  | m <sup>3</sup> | 283             | 280             | 277             | 275             |
|                             |                |                 | (△1%)           | (△2%)           | (△3%)           |
| 5. 一般廃棄物(可燃ごみ)排出量の削減        | t              | 0.73            | 0.723           | 0.715           | 0.708           |
|                             |                |                 | (△1%)           | (△2%)           | (△3%)           |
| 6. 中間処理後産業廃棄物リサイクル率の維持      | %<br>(リサイクル率)  | 100             | 100             | 100             | 100             |
| 7. 化学物質の適正管理                | —              | 適正に管理する         |                 |                 |                 |
| 8. グリーン購入比率の向上              | %<br>(購入額比率)   | 71              | 71              | 71              | 71              |
| 9. コピー用紙購入量の削減              | kg             | 165             | 163             | 162             | 160             |
|                             |                |                 | (△1%)           | (△2%)           | (△3%)           |
| 10. 花いっぱい運動・地域清掃活動の実施       | 回/年            | 2回/年            | 2回/年            | 2回/年            | 2回/年            |

備考)・購入電力の二酸化炭素排出係数は、電灯、低圧電力が九州電力(株)の2023年度調整後排出係数0.402kg-CO<sub>2</sub>/kWh、高圧電力が大和ハウス工業(株)の2023年度調整後排出係数0.419kg-CO<sub>2</sub>/kWhを用いた。

・( )は基準年(2023年度)実績値に対する削減率を示す。

## (2) 2025年度環境経営計画

・次年度の環境経営計画は現在の計画を継続するものとしました。

2025/5/1  
作成者: 森下弘一

| 目標項目                        | 取組活動  | 担当推進委員 | スケジュール                                   |
|-----------------------------|---|--------|--|
| 1. バイオディーゼル燃料(BDF)の使用       | ① バイオディーゼル燃料使用車両の使用   | 燃料削減   | 通年                                       |
| 2. 収集運搬量当たりの軽油・ガソリン燃料使用量の削減 | ① ドライブレコーダーによるエコドライブの徹底<br>(法定速度の遵守・急発進、急加速の禁止)<br>② 法定積載の遵守<br>③ 日報による燃費測定<br>④ 収集ルートの見直し・工夫                           | 燃料削減   | 通年                                       |
| 3. 処理量当たりの電気使用量の削減          | ① エアコン温度の適正化(夏季27度、冬季22度)<br>② 不要照明の消灯(事務所内)<br>③ センサーによる照明の自動化<br>④ 不要照明の消灯(工場内)<br>⑤ 工場内照明のLED化<br>⑥ リサイクル機器の無駄な稼働の禁止 | 省エネ    | 夏季: 7~9月<br>冬季: 11~3月<br>通年<br>切替時<br>通年 |
| 4. 水使用量の削減                  | ① 雨水・酵素再生水の利用<br>② 手洗い・洗濯時の節水<br>③ 節水コマの利用  | 省資源    | 通年                                       |
| 5. 一般廃棄物(可燃ごみ) 排出量の削減       | ① 廃棄物の分別の徹底<br>② リサイクル分別置き場の設置<br>③ 廃棄物の持込み禁止   | リサイクル  | 通年                                       |
| 6. 中間処理後産業廃棄物リサイクル率の維持      | ① 処分委託先のリサイクルの確認  | リサイクル  | 通年                                       |
| 7. 化学物質の適正管理                | ① SDS(安全データシート)の周知<br>② 劇物及び危険物保管庫の整備<br>③ 劇物及び危険物保管庫の施錠<br>④ 劇物及び危険物の表示  | リサイクル  | 通年                                       |
| 8. グリーン購入比率の向上              | ① 古紙配合紙の優先購入<br>② グリーン購入適合品の優先購入  | グリーン購入 | 通年                                       |
| 9. コピー用紙購入量の削減              | ① 両面コピー・両面使用の徹底<br>② 会議時のプロジェクター活用  | 省資源    | 通年                                       |
| 10. 花いっぱい運動・地域清掃活動の実施       | ① 事務所、工場出入口・付近道路の清掃活動<br>② 地域での花いっぱい運動の推進   | 省エネ    | 通年                                       |
| 11. 地域への環境配慮                | ① 収集運搬車両の出入ルートの指定<br>② 収集運搬時の安全パトロールの実施<br>③ BDF使用により排ガス軽減  | 燃料削減   | 通年                                       |

## 12. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

- ・当社の事業活動において法的義務を受ける主な環境関連法規は次のとおりです。
- ・年度末に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。また、関係機関等からの違反の指摘や利害関係者からの訴訟等も過去3年間ありませんでした。

2025/4/30  
作成者: 森下弘一

| 法の名称                       | 要求事項                        | 遵守状況           |
|----------------------------|-----------------------------|----------------|
| 1. 廃棄物処理法                  | 産業廃棄物収集運搬業許可／更新             | ○              |
|                            | 特別管理産業廃棄物収集運搬業許可／更新         | ○              |
|                            | 産業廃棄物処分業許可／更新               | ○              |
|                            | 産業廃棄物保管場所設置                 | ○              |
|                            | 産業廃棄物保管場所掲示板設置              | ○              |
|                            | マニフェストの発行                   | ○              |
|                            | マニフェストの管理(5年間保管)            | ○              |
|                            | 車両への産廃収集運搬車表示               | ○              |
|                            | 車両への許可証・マニフェスト携帯            | ○              |
|                            | 福岡県への受託量報告(年1回)             | ○              |
|                            | 福岡県への県外産廃搬入報告(年1回)          | ○              |
|                            | 一般廃棄物処理施設設置許可               | ○              |
|                            | 廃棄物再生事業者登録                  | ○              |
|                            | 2. 筑紫野市一般廃棄物の減量及び適正処理に関する条例 | 一般廃棄物収集運搬許可／更新 |
| 3. 筑紫野市一般廃棄物再生利用業の指定に関する規則 | 一般廃棄物再生利用業指定／更新             | ○              |
| 4. 特定家庭用機器再商品化法            | 収集運搬許可／更新                   | ○              |
|                            | マニフェストの発行                   | ○              |
|                            | マニフェストの管理                   | ○              |
| 5. 消防法                     | 消火器の設置済み                    | ○              |
|                            | 消防署立入検査済み                   | ○              |
|                            | 少量危険物(BDF・メタノール) 取り扱いの届出    | ○              |
|                            | 少量危険物(BDF・メタノール) 保管庫の設置     | ○              |
|                            | 少量危険物(BDF・メタノール) の表示        | ○              |
|                            | 指定可燃物(古紙・廃プラスチック) 貯蔵の届出     | ○              |
|                            | 指定可燃物(廃食油) 取扱の届出            | ○              |
|                            | 指定可燃物(古紙・廃プラスチック・廃食油) の表示   | ○              |
| 6. 毒物及び劇物取締法               | 劇物(メタノール・苛性カリ) の表示          | ○              |
|                            | 劇物(メタノール・苛性カリ) 保管庫の施錠       | ○              |
| 7. 下水道法                    | 排水設備設置済み                    | ○              |
| 8. フロン排出抑制法                | エアコン簡易点検の実施                 | ○              |

備考) 遵守判定区分 ○: 遵守 ×: 不遵守 ー: 該当なし

## 13. 代表者による全体の評価と見直し

- ・2024年度エコアクション21の運用成績を踏まえて、今年度の取組状況の全体評価と次年度計画の見直しを行いました。
- ・取組状況の全体評価としては、環境経営システムが有効に機能し、取組も適切に実施され、概ね良好と評価しました。
- ・次年度計画の見直しについては、環境経営方針、実施体制、環境経営システムは現行計画を継続するが、環境経営目標は次期中期目標の策定を指示しました。

2025/5/1

クリーン筑紫野有限会社

代表取締役 森下正己

|   |  |  |
|---|--|--|
| ① | <p>環境経営方針の変更の必要性</p> <p>現行環境経営方針で環境経営に取り組んでいく。</p>       | ( 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 ) |
| ② | <p>環境経営目標の変更の必要性</p> <p>2024年度実績を基準として中期環境経営目標を設定する。</p> | ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 ) |
| ③ | <p>環境経営計画の変更の必要性</p> <p>現行環境経営計画で環境経営に取り組んでいく。</p>       | ( 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 ) |
| ④ | <p>実施体制の変更の必要性</p> <p>現行実施体制で環境経営に取り組んでいく。</p>           | ( 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 ) |
| ⑤ | <p>環境経営システムの変更の必要性</p> <p>現行環境経営システムで環境経営に取り組んでいく。</p>   | ( 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 ) |